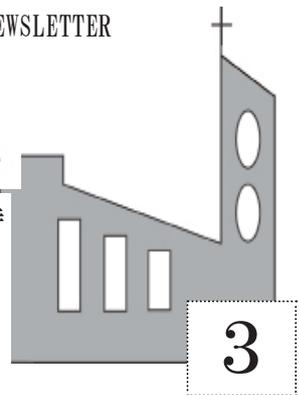


カトリック 大名町教会ニュース

DAIMYOUMACHI CATHOLIC CHURCH NEWSLETTER



〔ミサ時間〕 主日：7時・9時30分／ベトナム語（第2・第4日曜日）：13時半／英語：16時
 〔ホームページ〕 <http://www.daimyomachi-c.or.jp/>
 〒810-0041 福岡市中央区大名2-7-7〔巡〕能古島カトリック教会 ミサ（土）18時
 TEL：092-741-3687 Fax:741-5107 〒819-0012 西区能古弁当 1621-12
 発行責任者：中村 彰 神父

3月5日 灰の水曜日 四旬節

福岡教区年間目標：互いに支え合う「交わりの教会」となる

大名町教会年間テーマ：互いに支え合う「交わりの教会」となる

Becoming a "Church of communion" and mutual support

3月のお知らせ

- ◆2日（日）堅信式（アベイヤ司教司式）
司教司牧訪問
- ◆5日（水）灰の水曜日（10時、19時）
- ◆スープの会 7日（金）・14日（金）
14時：炊き出し、21時：夜回り
- ◆十字架の道行き
四旬節中の毎週金曜日15時
- ◆9日（日）四旬節第1主日・洗礼志願式
- ◆19日（水）聖ヨセフ祝日
（アベイヤ司教・中村神父霊名）
- ◆四旬節黙想会
指導司祭：牧山 強美 神父
（サン・スルピス司祭会）
 - ・29日（土）10時 講話
19時 ミサと講話
 - ・30日（日）7時 ミサ
9時半 ミサと講話

感謝！ ジョン・ウオンチョル神父様



ジョン神父様、ミサのこと、侍者のこと、楽しく教えてくださって、ありがとうございました。侍者としてこれからも頑張ります。お元気で！（侍者一同）

希望は欺かない



福岡教区創立
100周年開幕
2025-2027



◆キリスト教入門講座
（6日、13日、27日）木曜日：10時 19時

聖書学習会

◆チュエン神父：聖書のわかちあい
（6日、13日）木曜日：14時

ゆるしの秘跡：希望される方は、司祭に直接ご相談ください。（定期：毎週土曜日10時～11時半）

皆様、こんにちは。

灰の水曜日の意味

寒い冬は終わり、次第に暖かい春が近づいている3月です。本格的な四旬節を準備しなければならぬ時期です。そしてこれをお読みになる時、私はすでに異動していると思えます。教会ニュースで皆様にお話することはこれが最後だと思います。寂しいと思われる方も多いと思いますが、出会いがあれば別れもあることです。私たちは必要とされる場所に異動しなければなりません。「司牧者」とはそういう者です。ですが皆様と築き上げた絆は、たやすく消えるものではありません。離れる残念さより、その絆を通してさらに進むことが大事だと思います。

さて、間もなく灰の水曜日を迎えます。この「灰」とは何か。なんの意味があつて毎回頭にかけるのか。そのヒントは司祭が灰をかける時の言葉にあります。司祭は灰をかける時二つの言葉から選ぶことができますが、その一つの言葉が次です。「あなたはちりであり、ちりに帰っていくのです。」即ち、灰の水曜日は人間がどのように創造されたかを教えます。創世記に、人は神の手によって作りでご自身の似姿に形作られ「命の息」を吹き込まれたとあります。結局人間はこの神の「命の息」、私たちは生命と呼ぶものがなくなると死にいたる弱い存在だということです。信仰はそれを認めることから始まります。灰の水曜日の典礼はその信仰の始まりを皆様に思い出させるためにあります。

大名町教会 助任司祭
マルチェロ・アパメア

ジョン・ウオンチョル神父

ありがとうございます お元気で ジョン神父様

3年にわたり、わたしたちを導いてくださったジョン神父様が、北九州の戸畑教会、若松教会の主任司祭として赴任されます。2月23日最後の主日ミサ、派遣の祝福



の前に、侍者の代表から花束が贈られ、続いて信徒を代表して吉田教会委員長は「神父様は信徒と共に歩んでくださいました。どんな方にも心を開いて接してくださいました。深い内容の福音を分かりやすく説教してくださいました」と感謝の言葉を、「海を渡った司祭」としてますます活躍してください」とエールを送りました。

ジョン神父様は「司祭生活5年、これからも努力します。大名町教会はカテドラルなので、これからも何かとお世話になります」と挨拶されました。

★2月16日教会学校でのお別れ会からおかえりなさいとさようならの挨拶が一緒になつてとても寂しいです。

ジョン神父様との一番の思い出は教会学校のみんなで能古島へ行ったことです。とても暑い日だったので神父様がソフトクリームを買ってくださいって、みんなで食べたことがとても嬉しい思い出です。神父様自作の四部合唱もサイコーでした。いつかリーダーに頼んでみんなで会いに行きます。ジョン神父様「ファイティーン！」
スコラスティカ 豊嶋 清香

苦しんでいる人の傍で キリストに出会える

2月9日(日)の9時半ミサは、SJ下関労働教育センターの中井淳神父様(イエスス会)の司式。ミサ後、下関での活動紹介など講話がありました。ミサでは「イエスがシモンに『人を漁どるようになる』とおっしゃったことは私たちへの話です。」「イエスと出会い、人々が苦しんでいるところに神様は働いているとわかりました。」と話されました。



講話は「主よ、あなたを見つめ続け 待ち望む」とギターを弾きながら神父様のテゼの歌に始まりました。教皇フランシスコの「私たちはこの世に与えられているプレゼント(贈り物・存在)であり、兄弟が苦しんでいるのに助けるのは当たり前」のことに出会い、朝鮮学校に関り、韓国に行き少女像を見て世界平和を考え、帰って、子ども食堂を開き、来ることでできない本場に必要なる人のためにキッチンカーを購入し、路上生活者への炊き出しをし、難民移住ネットワークのコーディネートになり...と、たくさん活動を紹介されました。自然破壊への危機にも触れ「今ぼくたちはどんな入口に立っているのだろう」と歌い締めくくられました。わたしたちがキリスト者としてどんな生き方をしたらいいか考えさせられる講話でした。

今年も2月と3月の2週目までの毎週金曜日の午後から、大名町教会は豚汁の香りに包まれます。約40年前から続けている「スープの会」の炊き出しです。



大名町教会の信徒だけではなく、福岡地区のさまざまなお小教区から調理のためにボランティアの方々が参加しています。材料の野菜は高宮、肉は吉塚の信徒の方のお店から分けていただいています。

スープの会の豚汁は生姜とねぎが効いているのが特徴で、今も伝統のレシピが守られています。寒い屋外で、体が温まるおいしさで、こちらも温められたらとの願いが込められています。やさしい思いがたっぷり詰まった豚汁です。

この豚汁は、夜の配布ボランティアに引き継がれて苦しい生活を送る方々に届けられます。マリア・インマクラータ 前田由樹

昼の調理ボランティアの皆さんの思いを引き継いで、夜回りのボランティアが一階のホールに集まります。配布のメンバーは宗教、国籍、年齢のどれもさまざまです。一方で、夜回りに初めて参加したり野宿者問題に詳しくない、といった方も多くなっています。そのため午後7

カトリック大名町教会 カテドラルセンター(西鉄グランドホテル前)
協働グループ **スープの会**
2025年2月よりスタート
問合せ 深堀 伸一 080.1793.0481
飛永 薫 080.4317.4152
前田 由樹 090.8412.7803
〒810-0041 福岡市中央区大名2丁目7番7号 TEL 092-741-3687

時からおにぎりの会のメンバーが、初参加の方のたのめレクチャーを行っていただきます。元当事者の方によるお話では、野宿に至った経緯とともに、炊き出しに並ぶことがプライドを傷つけること、受け取る側の気持ちに思いを馳せてほしいこと、などを話されました。



先日は、今年度の夜回りに参加する上智福岡中学高等学校の生徒たち約100名に向けてお話をしていたいただきました。その後、各コースに分かれて夜回りに出かけます。ホームレス自立支援法以降、自立支援へと全体の流れがシフトしていく中でも、一人ひとりを大事にすること、周りにいらつしやる小さくされた

人々への気づきの機会を提示するために、スー



プの会は今後とも活動を続けていこうと考えています。
アシジ・フランシスコ 深堀 伸一

中高生会の学び 「スープの会」を知った

2月16日のミサ後、中高生会を行いました。中高生会とは教会学校の中高生を対象としたクラスです。今回の参加者は6名。

昼食の後、13時より「スープの会」の深堀伸一さんを招いて話を伺いました。スープの会ではホームレス支援を行っています。男性のイメージが強いホームレスの方々が、全体の15%は女性。女性の理由として一番多いのはDV。DVから逃れるためには身元を明かせず、公的な福祉が受けにくいこと。男性の場合、出稼ぎ、季節労働者の方々が怪我がきっかけになることが多いこと。また、ホームレスになるまでには、怪我や病気、お金や物がなくなる過程等、少しずつ段階があり、一般的な生活に戻るには一気に何段階も飛び級しないといけない高い壁があることも図を交えながら、説明していただきました。聴き終わった後、参加者は「ホームレスの方々に対して汚い、怖い、という印象をもっていたが、怖くないということがわかった」と話しました。話の冒頭、「ホームレスの方々を見たことがあるか」という問いに、多くの子が「ある」と答えました。身近に目にしていながら、その人達のことにはよく知らない。そんな中で、まず少しでも「知る」ことができ、大きな一歩となったと思います。今回学んだことをもとに、次は「出向いていく」一歩をいつか踏み出せればと思います。

中高生会スタツフ
ミカエラ 荒牧 結花

サクリスタア会が ロウソク作り

2月11日(火)にサクリスタアの呼びかけで、ミサ用ロウソク作り体験会がありました。7人が集まりました。



美しく出来上がりました。

短くソクを集めて小さく砕いたロウソクを鍋で溶かし、芯になる糸をまっすぐに張った型に、溶けたロウを流し込みます。



少しずつかたまっていくロウに、とまどき割りばしを刺して空気を抜き、またロウを流し込みました。

日にちをおいて型から外すと、真っ白なきれいなロウソクができあがっていました。



経済的にも、ものを大切にすることからも、大切な作業でした。これまでもサクリスタア会メンバーで手作りしていましたが、出来上がった再生ろうそくは、ゴミサの中で使われています。

福岡教区和田墓地 納骨堂管理委員会よりお願い

和田墓地には年間を通して約2500名の方が訪れています。納骨堂管理委員会は、カトリック大名町教会に事務局を置き、大名町教会の主任司祭が担当司祭となります。

委員は福岡地区13の小教区より推薦された2名から1名で構成されています。現在の委員数は16名です。私が推薦された30年前は、26名の委員数でしたが、高齢化や病気など様々な理由で少なくなっています。大名町教会も最初は3名でしたが、現在は佐野典保さんと2名で活動しています。

管理委員会では年間を通して毎月、開放日を2名で当番制にしています。教区行事前の一般清掃、その前の特別清掃、近隣住居に迷惑をかけないための樹木伐採、草刈りなども行っています。教区主催の8月15日の追悼ミサ納骨式、11月第2日曜日死者の日の追悼ミサ納骨式の準備、納骨堂奉安室の申し込み者の案内、納骨手続きの案内、共同納骨所の案内手続き、改装手続きもあります。また、建物の保守や敷地の整備などいろいろとすることがあります。共同納骨所が3年前に完成したのでその整備を予定しています。

大名町教会信徒関係者は256柱。福岡教区でお働きくださった司祭や修道者の納骨奉安所でもあるのです。納骨の関係者だけではなく信徒のみならず、管理委員会への手伝いや奉仕を是非お願いします。

パウロ 豊嶋 司

教会学校 堅信クラス

3月2日の堅信式に向けて、赦しの秘跡を受け、7つの秘跡や、「使徒信条」を学んでいます。聖霊の恵みを受け、信仰をさらに強める秘跡を祈りながら待っています。3名のこどもたちのためにお祈りください。

ヨゼフ会

2月11日のヨゼフ会では、次の日曜日の典礼で読まれる3つの朗読について、わかちあいをしました。第一朗読はエレミヤの預言「祝福されよ、主に信頼する人は」、第二朗読では使徒パウロのコリントの教会への手紙「キリストが復活しなかつたら、あなたがたの信仰はむなし」、そしてルカによる福音「貧しい人々は幸いである」にはじまる垂訓。どの箇所もわかちあって深く味わうことができました。男女を問いません。多くの人の参加をお待ちしています。

ふれあいのつどい

月一回の「ふれあいのつどい」です。毎月テーマを決めて、講師に来てもらい、学習するときもあります。2月16日は、祈りと分かち合いをしました。

分かち合いでは、参加者のたくさんの方の考え、意見を聞くことで、教会と自分のかかわりについて考えることができました。

宣教司牧評議会

(2月16日)

◆議題

- 1 教区指定巡礼教会への巡礼計画
・八代教会と島崎教会への巡礼を計画
・予定日：9月23日(火・祝)
 - 2 信徒会館使用規程
・信徒会館厨房のガスの使用に関する方針について明確化する
・ガスのメンテナンス実施の有無の確認
 - 3 ガスを使用する場合のチェックリストの整備
 - 3 駐車場利用規程運用スケジュール
・3月中、駐車場利用者への説明会の開催
 - 4 4月1日、利用申請の受付開始
 - 5 5月1日、運用開始
- ※4月からの受付ピーク時には、評議員が対応し、定常状態になった後で事務室に引継ぐ

◆報告事項

- 1 聖年の準備検討委員会
・大名町教会の「聖年のしおり」を作成中。500部準備
- 2 カテドラル利用規程検討委員会
・カテドラル利用規程を整理し司教の確認を得た
- 3 規程の内容は事務室で閲覧できる旨
ミサ後のお知らせで告知
- 3 お通夜検討委員会
・大名町教会信徒のお通夜は希望があれば信徒会館で行うことが可能
- 4 その場合の取り決めについて報告
- 4 典礼部
・3月2日(日) 9:30ミサ堅信式

アベイヤ司教様司牧訪問

- ・3月5日(水) 灰の水曜日ミサ 10:00、19:00
- ・3月9日(日) 四旬節第1主日 洗礼志願式
- ・3月29日(土) 30日(日) 黙想会
- ・4月2日(水) 共同回心式 10:00、19:00

5 営繕部

- (1) 大聖堂2階西側網戸が隣地に落下する事故が発生
緊急点検の結果、網戸は全撤去とする
- (2) 高圧ケーブル更新・高圧交流気中開閉器(PAS) 移設工事を完了
- (3) 大聖堂天井照明器具等の改修工事見積りのための現地調査を実施
- (4) 駐車場出入口回転灯設置工事、行灯サインタイマー設置工事を完了
- 6 財務部
(1) 世界子ども助け合い献金 ¥76405
(2) 営繕積立金取崩申請内容 総額 9,578,360 円のうち小教区負担金 50% 4,789,180 円
(3) パイプオルガンの臨時メンテナンス費用 500,000 円を承認
- 7 その他
(1) 福岡地区宣教司牧評議会
① 青年担当よりローマ青年巡礼団の計画について報告と支援の要請
② 五つの教区委員会に対応した地区委員会の設置と担当者が決定
③ 女性の会
・女性の会委員改選年に伴い、大名町教会から「鈴木尚美 中川緑 平田素子」の3名を承認

大名町教会の現勢 2月

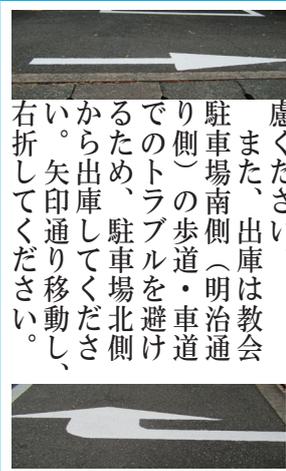
- ④ 鐘樓の点検(メンテナンス)が出来た
・人材について
・教区内からの紹介が欲しい旨要望が出た
- 【初聖体】おめでとうございます
・テレジア 樋口 絹代
【転出】お元気で(・・・教会へ)
・テレサ・ベネディクタ 緒方 みゆき (老司教会)
- 【帰天】永遠の安息をお祈りします
1月31日
・ドミニコ 植田 知秀
2月5日
・トマス 大谷 真造

福岡地区女性の会お知らせ

- ☆5月27日(火)・28日(水)
・日本カトリック女性団体連盟(司教協議会公認団体)の第51回総会が大名町教会で開催予定。
・参加者を募集しています。
・申込は、女性の会委員まで。

駐車場利用のお願いです。

主日の9時半のミサに車で来られた方は、ミサ後、早めの車の移動をお願いします。午後からの外国語ミサ参加者のために長時間の駐車はご遠慮ください。



また、出庫は教会駐車場南側(明治通り側)の歩道・車道でのトラブルを避けるため、駐車場北側から出庫してください。矢印通り移動し、右折してください。

聖霊に導かれて 希望の巡礼者に

司祭、修道者の召命がないと言われる昨今、修道院も高齢化して存続ができなくなり閉院する所もあると聞く。神父が少なくなると、これからの教会はどうなっていくのだろう、そう考えたとき、私たち信徒もすべきことがあるのではないかと。洗礼を受けて神の子となった信徒はイエスに従い福音宣教をしなければならぬ、信徒使徒職である。イエスである教会でイエスを頂き聖化され、私たち自身が教会となる。そしてそれぞれの家庭、職場、隣人に福音を伝えていかなければならないと気付く。

しかし、イエスを頂いた時には聖霊の愛の焔が強く燃え上がるのだが、教会を出て岩田屋の角を曲がるころには聖霊の愛の焔は欲望の焔と化している、これではいけない。

聖霊の愛の焔を燃やし続けていくためには、どうすればいいのか。それは日々イエスを思いイエスと共に祈ること、私たちに代わってイエスに働いてもらうしかないのではないかと、幼きイエスの聖テレーズのように日々の生活を主のために主が望むように行うこと、そうすることで希望の光が見えてくるように思える。

教皇フランシスコは聖年勅書「希望は欺かない」で、「明日は何が起こるかかわからないとはいえず、希望と忍耐は目的地である主キリストとの出会いを垣間見せてくれる旅路」と言われている。

主に信頼し希望を持って人生の旅を続けて行きたいと思う。
幼きイエスのテレーズ M・S